



さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

2月号

令和5年1月31日
横浜市立境木小学校
校長 清見克明

阪神・淡路大震災から28年

校長 清見克明

1月17日で6434人が犠牲になった「阪神・淡路大震災」が発生して28年になりました。28年前の1月17日の朝、テレビをつけると、神戸の街の数か所から黒煙が上がっている様子が映し出されていました。その後も阪神高速道路が倒壊し、横倒しになっている様子や、高速道路が崩れ、橋桁から前輪が宙に浮いているバス、地割れや液状化、避難所の様子など、地震の被害の様子が次々と報道されました。

本年も地震の被害が地震発生時刻の午前5時46分には、多くの場所で、多くの人たちによって、犠牲になられた方々に対して、黙とうが行われました。

本年の追悼会場に浮かび上がった「1995 むすぶ 1.17」の文字は、震災から28年がたち、「過去と未来を結ぶ」「経験者が知らない世代に語り継ぐ」などの思いが反映されている、という説明がされていました。被災者の高齢化も進み、「震災を経験していない若者ら次世代への教訓伝承が焦点となる。」「風化させるのが一番駄目。こういう機会に考えて欲しい。」「神戸に生まれたからには、被災者の経験に基づく教訓を聞き取り、防災のため語り継いでいく役目を果たしたい。」など、次世代へ語り継ぐことの大切さが報道されていました。



境木小学校では、1月17日の8時30分に予告なしで、地震の発生と、それに伴う火災が発生したという想定での避難訓練をおこないました。

阪神・淡路大震災では、建物や高速道路などが倒壊して犠牲者が出たこと。朝食の準備などで、火災が多数発生したこと。自分の身を守るために、今、どんな行動をするべきか、自分でも考え行動すること。などを話しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校教育へのご協力ありがとうございます。現在、オミクロン株の変異株の感染報告や、季節性のインフルエンザの感染者が増えています。

横浜市内でも学校関係者の感染の報告が多数寄せられ、学級閉鎖をしている学校もあります。今後も校内の感染状況を注視し、行事の変更や、各閉鎖関係等は都度、お手紙やメールにより早めにご連絡させていただきます。引き続きご協力をお願いいたします。